

KOMATSU 2040 VISION



景が残る魅力的な地域が再認識されています。裏という言葉の持つ真実の感触、知る人ぞ知るという魅力が、ここ日本海側の地域、フレッシュな意味での“ウラ日本”の本質と見事に符合します。

2024年3月16日にいよいよ北陸新幹線小松駅の開業を迎えます。日本の真ん中に位置するロケーションの良さに加え、新幹線駅と小松空港の二大交通機能が近距離に立地する類まれな地方都市が誕生します。新たな人流・物流が生まれる今こそ、小松市が大きく成長し飛躍するチャンスです。

小松市の位置する日本海側の地域は、地理的な要素だけでなく、経済・社会的な発展度から見て「裏日本」と呼ばれ、遅れをとってきた過去があります。片や「表日本」と呼ばれていた太平洋側の都市部は、過度な投資や開発が進められ、結果として都市部と地方の地域格差が拡大し、東京一極集中が加速しました。

我が国は、今や人口減少に陥り、この人口減少は日本全体の衰退をもたらし、ひいては国力の低下にもつながっています。

この課題に対峙し、我々に求められていることは何か。その答えは、地方都市こそがレベルアップを図り、成長と飛躍へ向けて挑戦することです。

一方、時代の移り変わりとともに、人々の視点や価値観も大きく変化し、独自の文化が息づき、日本の美しい原風景

小松市は、新幹線開業という百年に一度とも言える好機に、かつての裏日本、いや、新たな意味を持つ“ウラ日本”として地域を見つめ直し、新しい地域づくりに取り組みます。“ウラ日本からの新たなまちづくりへの挑戦”です。形成されたネガティブなイメージを打破し、隠れた魅力に満ちた地域の可能性を最大限に活用し、新たな日本海側を創造します。そして、ここ小松市は、そのウラ日本の拠点を目指します。

市制100周年の節目となる2040年には、北陸新幹線が東京から大阪までつながり、日本のカタチがさらに大きく変わってきます。「小松を明るく、にぎやかに!」を合言葉に、2040年ビジョンの実現に向けて、まちづくりを共に進めていきましょう。

2023年 11月

小松市長

宮橋勝榮





小松市

KOMATSU
2040 VISION

2040ビジョン

小松を明るく、にぎやかに

INDEX

1	Message	01
2	6つの都市像	04
	① 世界に時めく日本海側の拠点都市こまつ	05
	② ものづくりが誇りの産業創生都市こまつ	11
	③ 子どもたちの輝く未来創造都市こまつ	17
	④ 誰もが暮らし続けられる生涯安心のこまつ	23
	⑤ 自然が映え文化が息づくふるさとこまつ	27
	⑥ ワンランク上の生活空間あふれるこまつ	33
3	好循環をつくり出すまちづくり	39
4	2040年の小松のすがた	40

世界に時めく
日本海側の拠点都市こまつ



ものづくりが誇りの
産業創生都市こまつ



子どもたちの輝く
未来創造都市こまつ



6つの都市像

2024年北陸新幹線小松駅開業は、小松市にとって飛躍につながる100年に一度の好機です。空港も有する日本海側最大の拠点都市に向け、交流拡大や産業創生への取り組みを加速させ、「小松を明るく、にぎやかに」を合言葉に2040年に向けた新たなビジョン（目標）を定めました。そして、未来志向のまちづくりに挑戦していきます。

誰もが暮らし続けられる
生涯安心のこまつ



自然が喚び文化が息づく
ふるさとこまつ



ワンランク上の
生活空間をふれるこまつ



世界に時めく 日本海側の拠点都市こまつ

国際空港と新幹線の織りなす全国随一の交流エリア。
世界各国、日本各地と人やモノが交わり、にぎやかに成長するウラ日本のモデル都市

Vision

小松空港エリア



世界に開かれた臨空エリア。ウラ日本のシン都心へ

- 日本の真ん中に位置するロケーションで、国際空港と新幹線駅も近接する都市機能は、日本中がうらやむ小松市の財産です。
- 小松空港は、世界各国、日本各地とつながるミニハブ空港。人流・物流のコア施設に。
- エアターミナルでは、北陸の海の幸や農山村で採れた小松自慢の食材に、訪れるみんなが満足。
- 空港周辺は、ショッピングやホテルなど人々が滞在して楽しむアミューズメント空間に。
- 国や県、経済団体のオフィスなど、主要な機関も集積します。
- 自動運転モビリティで接続する新幹線駅や空港直結の高速道路が、北陸や飛騨などの都市からも近い抜群の交通アクセシリティを高め、広域連携を深めます。

アクセスの良い小松で
世界レベルを体感

- アリーナでは、心躍るスポーツやコンサート、世界中から集まるコンベンションまで、多種多様なイベントが繰り広げられます。
- 日常では味わえない興奮や感動が、QOL(生活の質)を高めます。



小松駅エリア



東はビジネス・教育の新たな交流を創出、西は古の彩りが感じられるミッドタウンエリア。 東西で新旧文化のハーモニー

- 東京～小松～大阪につながる北陸新幹線。ビジネス・教育・観光のビジターが行き交います。新幹線駅には世界最大級の建機が出迎え、待ち時間無く乗れるデマンド型交通や高速バスも発着しています。
- 北陸エリアの魅力が詰まった観光情報やグルメなどであふれ、各地の特産品を求める観光客やワークラウンジに集う学生、ビジネスパーソンで賑わいます。

- 駅東の豊かな緑地の広がるひとつづくりエリアから、町家の町並みや歌舞伎などの文化の感じられる駅西まで、新しい発見や魅力に出会えるウオーカブルな空間が広がります。



新幹線と航空機を結ぶ、
次世代技術を駆使した
モビリティ

- 自動運転モビリティのシームレスな乗り換えが実現。
長距離移動を身近なものにし、駅のターミナル機能を高めます。
- 大学生や高校生が駅周辺に集い、
まち全体に若者のパワーがあふれています。



北陸の美食で賑わうストリート



町家はスタートアップの交流拠点。駅西の歴史的な町並みが一新

- 町人文化が栄えた時代の面影を残す町並みには、海外や首都圏に拠点を持つ企業のサテライトオフィスやスタートアップ企業が集結。
- 競争と共創が新たな産業やビジネスモデルを生み出し、ウラ日本から新風を吹き込みます。

- 海の幸や山の幸をリーズナブルに味わえるのはウラ日本最大の魅力。観光客やビジネスパーソンは、昼夜を問わず北陸の美食を囲みます。

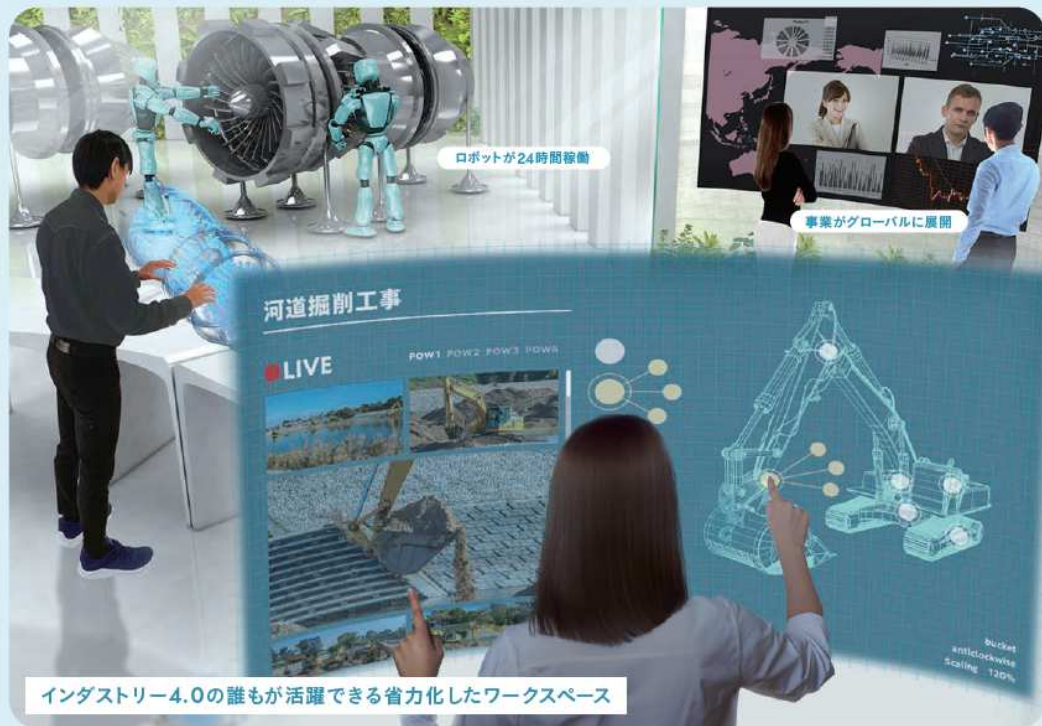


ものづくりが誇りの 産業創生都市こまつ

ものづくり産業＋新産業の創出が
小松の持続的な成長を確約

Vision

都市力の源泉はものづくり



■「ものづくり」をなりわいとして繁栄してきた小松は、世界的な建設機械メーカーの発祥の地。ものづくり産業は、大学等とタイアップした技術者の育成や技術力のアップデートによるイノベーションを積み重ね、世界が注目するトップランナーとして地域産業をリード。

■インダストリー4.0が実現したものづくり現場では、遠隔操作やロボットの導入によって作業者の負担が軽減され、女性の視点や感性も活かせる職場に。

■高度化・効率化によって南加賀エリアの産業集積が一層進み、最適化されたサプライチェーンが地域経済を活性化します。



誰もが輝けるビジネスフィールド

■ オフィスでは、AIなどのテクノロジーで省人化が進み、よりクリエイティブな仕事で女性や若者が活躍します。

■ 仕事の掛け持ちや季節ごとに仕事を変えたりするなど、働きやすい時間や環境を選択できるフレキシブルな働き方で、誰もがのびのびと働けます。高齢者や障がいのある方などすべての人が、自分の能力やライフスタイルに適した働き方を選択できます。

■ 人生100年時代のライフロンダリング（終身学習）は当たり前。継続的に新しい知識やスキルを身につけることができます。

■ 企業や専門機関によるサポートで、未来のスタートアップ企業を志す若者が育まれます。



オフィスパークエリア



女性と若い世代が働く美しい産業空間

- 空港や新幹線駅からのアクセスの良い未来の産業団地には、グローバルに事業展開する企業のサテライトオフィスや最先端の研究機関などが進出します。
- 自然と調和した、人と環境にやさしいオフィスパーク。企業同士の気軽な交流が、新たなビジネスの連携に発展します。
- 大学や研究機関などとのオープンイノベーションによって、新たな製品開発も進みます。



ワーク・ライフ・バランスが実現

- スキルアップやリフレッシュ、子育てなど、働く人を支えるジョブサポートセンター。
- カフェやスポーツジムなどの共用スペースや、子育て世代をサポートする託児サービスなども備え、次世代のワークスタイルを創出します。

子育て世代が働きやすいジョブサポートセンター



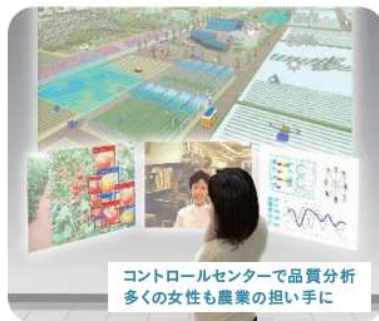
休日はセントラル広場のマルシェが賑わう



市民の食と健康を守るのは、 ふるさとの農産物



- ふるさとの豊かな自然環境の中で育つオーガニック（有機農産物）は、栄養豊富で安全性にも優れています。
- 食卓から給食まであらゆる場所で地産地消。
- ドローンを活用した情報収集やAIを駆使した分析で、効率的で持続可能なスマート農林業が実現。若者や女性、異業種からの進出も進み、食料自給率を高めます。



コントロールセンターで品質分析
多くの女性も農業の担い手に

センサーやロボット、AIなどを活用したスマートアグリ



子どもたちの輝く 未来創造都市こまつ

まちに人々が集い、新しい家族も誕生する。
そして、子どもたちの成長が、まちをひとときわ輝かせる

Vision

木場潟エリア

スポーツゾーン

環境学習ゾーン

アスレチックゾーン

BBQ・キャンプ場

木場潟を望む
ジップライン

ツリートレッキング

子ども交流館

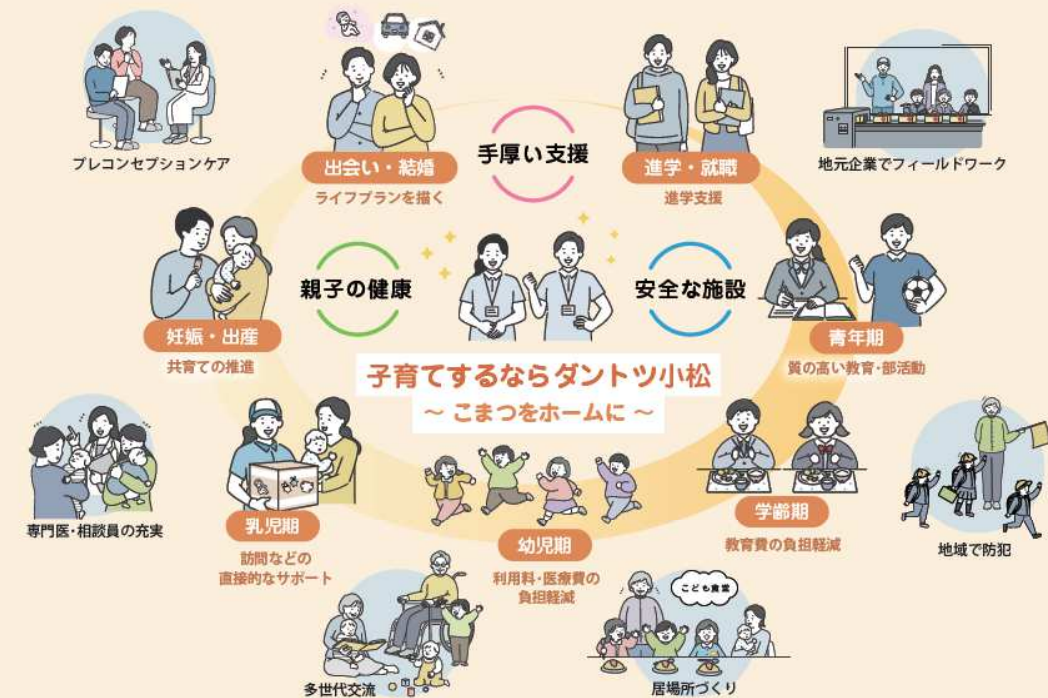
子どもの五感を刺激する木製遊具

各園地はさらに魅力が高まる

木場潟エリアは北陸随一の遊びと学びのフィールドに

- 自然と一体となった遊具や環境教育、スポーツで、一日中 ゆっくりと楽しい時間を過ごして成長します。
- キャンプ場などで自然の豊かな恵みを感じながら、あらゆる体験を積み重ねることができます。
- 自然とのふれあいが子どもの多様な感受性を養い、絶え間なく変わる社会に適應できる力を身に付けることができます。





みんなで子どもの未来を育みます

- ライフステージに応じた支援体制によって、若い世代は安心してライフプランを描き、理想とする家庭を築くことができます。
- 企業や専門機関、地域、行政など社会全体が一体となったサポートで、子育てを応援します。
- 親子が共に穏やかに暮らせる子育てしやすい環境は、子どもたちの未来に希望の持てるまちとして、若い世代に選ばれています。



最先端教育や高度教育が充実

- 切れ目のない一貫した教育環境のもとで、個々の児童・生徒の能力や性格に応じた最適なカリキュラムで授業が展開されます。
- 世界中の子ともたちと科学的議論を交わしたり、異なる文化について深い理解を得たりするなど、ICTを駆使した新たな授業も行われます。



充実した環境で、思い通りのスポーツに挑戦



スポーツ&アートの夢を育む

■ 新たなスポーツ競技やパフォーマンスなどに取り組める環境も日本トップレベル。

■ 子どもたちは未来のアスリートやアーティストを目指して成長します。



本物に触れる空間でパフォーマンスを高めます



誰もが暮らし続けられる 生涯安心のこまつ

医療・福祉、介護、防災は全国トップクラス。
その暮らしが地域社会・地域経済を支える

Vision

ウェルネスエリア



産学官でビッグデータを活用し、市民のヘルスケアをサポート



高度な医療と健康づくりの拠点。先端技術やビッグデータで安心の暮らし

- 市民病院は南加賀地域の中核病院として、救急医療や周産期医療などの高度な医療体制を強化し続けています。
- 最先端の医療設備によって、遠隔地からの手術や診療も可能になります。
- 地域の医療機関や介護事業所などとの緊密な連携によるデータ共有、AI分析により、治療やサービス計画を導き出し、最適な医療を提供します。



産学官連携の健康づくり

- 市民一人ひとりの身体のモニタリングによる健康管理を担い、病気を未然に防ぐ身体づくりを推進しています。
- スポーツ活動や地域の交流活動など、様々なスタイルで健康増進に取り組み、市民のWell-beingが高まります。

- 温泉や農山村での保養と健康診断・診療を組み合わせたヘルスツーリズムは、首都圏やアジア諸国を始めとした海外からも好評です。



命を守る防災減災。

そして自然と共生する生活空間

■ 水辺空間は、キャンプやスポーツなどで集い楽しめ、多くの人々で賑わっています。そして、水害など自然災害のリスクも学べる場所になっています。

■ 強固な護岸と流域治水の機能がしっかりと整備されています。増水時にはAI等の最先端技術の活用による危険性の未然の把握と地域の自主防災力によって、防災に優れたまちになっています。



公民館モデジタル空間に

- 公民館では、日用品・医薬品のドローン配送が受けられます。
- オンライン体操、eスポーツも活発で、高齢者の住み慣れた地域で暮らし続けられる環境が整っています。



自然が映え文化が息づく ふるさとこまつ

100年後の小松に残したい自然、伝えたい文化がある。
いつの時代も人々の心を豊かにするまちの財産

Vision

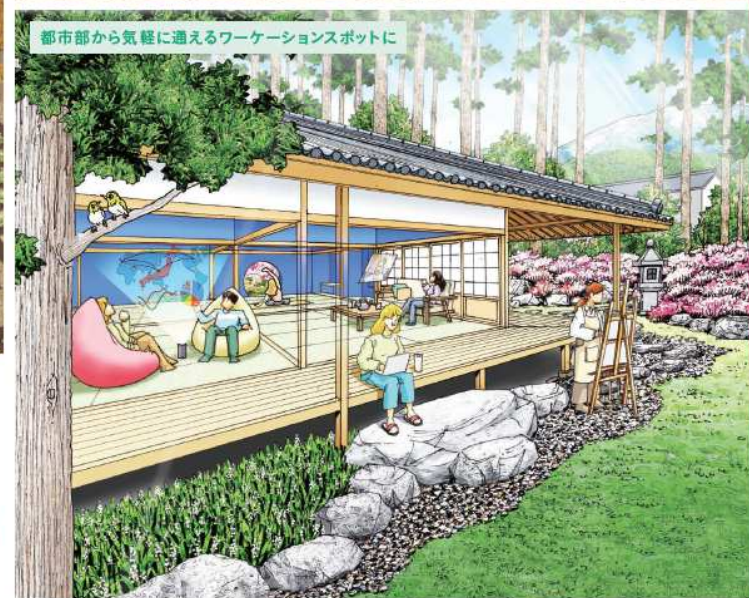
農山村エリア



白山麓に連なる農山村には、日本の原風景と文化が残る。 育まれた食と自然がこれからの時代に輝きを増す

- 訪れる人々は、心地よい森林浴や温泉に癒されながら、体験を通じて日常のストレスから解放され、心身の健康を高めます。
- 栄養豊富な食材と真心のこもった料理に舌鼓を打ちつつ、食への探求と食文化への理解を深めます。

- 廃校を利用した企業の進出や交流拠点化で、農山村に新たな担い手が増えます。
- 中心部からのアクセスの良い農山村は、ワーケーションをはじめとする新たなライフスタイルやビジネスシーンにも対応し、多くの人々に受け入れられています。



曳山子供歌舞伎が世界の人々をお出迎え



文化が 心と暮らしを豊かにする

- 古くから受け継がれてきた伝統文化が今も息づき、人々に親しまれながら日々の暮らしを彩っています。
- 北前船の寄港地安宅は、難関突破の勸進帳の舞台として歌舞伎が上演。祭りや町並みなど、パワースポットの名所に。



川とともに生活が営まれ、文化も育まれてきた

ワンランク上の 生活空間あふれるこまつ

暮らしのあらゆるシーンで、他を上回る快適さ・便利さ・幸福感。
まちに笑顔があふれるクオリティ・オブ・ライフ

Vision



新駅から木場潟までは、行き交う人々で賑わいます

水上アクティビティ

木場潟

遊覧船ポート

前川

地域に親しまれる新駅

白山眺望へいざなう玄関口

■ 木場潟近くにできた新しい駅では、展望台から季節ごとの白山眺望を楽しむことができます。

■ 訪れる人々は、駅から木場潟まで続く遊歩道を散策したり、前川を巡る遊覧船で旅気分を味わいます。

■ 木場潟の美しい自然環境は、地域の人々の手によって守られ、様々な生物や植物が生息する環境共生のシンボル。木場潟から前川、梯川から安宅海岸など、水と共に暮らしてきた生活が受け継がれています。



木場潟と白山は最高の映えスポット

■ 車窓から望む木場潟と白山眺望が、北陸新幹線を代表する景色になっています。

■ カヌーの聖地として世界大会も開催される木場潟では、市民や観光客が湖面でカヌー体験やウォータースポーツを楽しみ、栗津温泉や農山村エリアへの周遊でリゾート気分を堪能します。



カヌーの聖地は、ウォーターリゾート

地球と未来を想い、ゼロカーボンシティに

■ 再生可能エネルギーが普及し、電力は全てクリーン。

■ ゼロエネルギー住宅・ビル、電気自動車など、CO₂を排出しない仕組みが進みます。

■ リサイクル循環とごみの減量化、環境美化活動により、まち全体が美しい空間に。



芦城公園エリア

花と緑に囲まれた 次世代の文化教養ゾーン



地域交通はより便利で快適に

- ローカル鉄道は、通勤・通学に便利で、観光列車など訪れる人々も楽しめます。
- 鉄道、バス、電動モビリティなど、あらゆるものがMaaSでつながり、キャッシュレスでスムーズな移動を実現。
- 駅周辺には、オフィスや住宅が集積し、駅を中心としたまちづくりが進みます。
- ライドシェアで目的地まで誰とでも一緒に移動できるため、移動手段の選択幅が広がります。



まちなかに文化が花咲くやすらぎ空間

- 歴史・文化・教養・自然が融合した芦城公園では、既存の文化施設が集約・配置され、そのコア施設が未来型図書館。
- みんなで創り上げた未来型図書館では、様々な活動や出会いが生まれ、まちづくりのキーステーションに。
- 芦城公園で過ごす時間と空間のすべてが、ワンランク上と実感できます。



発信・表現



共創



子育て支援



くつろぎ・居場所

こまつを編む。 こまつを巡らす。

—まちの「情報」・まちの「つながり」・まちの「とき」—



施設・地域連携



「個」の活動



知の集積



活動支援



創造



体験の共有・交流



地域の歴史文化の集積・編集



スポーツがまちに活力と感動を生み出します

- 末広運動公園は機能の高いスポーツ施設の集積ゾーン。市民の運動能力が高まり、国内外の大会でも活躍しています。
- 全国レベルの大会や合宿のできる機能も整っており、全国から訪れる人々とスポーツを通じた出会いや交流の機会が増え、競技レベルの引き上げや地域の活性化につながっています。
- 地元のゆかりのプロスポーツチームの活躍が、応援する市民や地域に活力を与え、スポーツを通じたまちづくりが進んでいます。



世界の逸品も新しい買い物スタイルで

- ワールドモールには、国際貨物定期便で届く輸入品が店頭に並ぶ。海外とも近く、身近で直接買い物を楽しめます。
- ロボットの接客やAIによる最適なレシピの提案など、日々の買い物をスマートに。レジに並ばなくても、そのまま決済が完了します。





スマートシティ：新世代通信システムであらゆるシーンをネットワーク化

デジタルで生活スタイルがアップデート

- 高速・大容量の新世代通信システムで、あらゆる分野のネットワーク化が革新的に進みます。生活空間がより快適に、生活スタイルが大きく変容しています。
- ビジネス・行政など社会全体のデジタル化が定着し、暮らしを便利にする商品やサービスが次々と生み出されています。
- 家庭でも、デジタル技術やロボットの導入によって、生活の様々な負担が軽くなり、質の高いライフスタイルを実現しています。



快適なスマートハウス。デジタルが家族みんなの暮らしを楽しく、便利に

好循環をつくり出すまちづくり

01 人口減少・東京一極集中を克服し、地方からレベルアップ

高度経済成長期の地方からの人口移動や、政治、経済、文化、メディアなどが首都圏に集まる東京一極集中は、地方の衰退を引き起こし、国力の低下に繋がっています。また、地震や豪雨などの自然災害が全国各地で激甚化・頻発化しており、市民の暮らしを守る、防災・減災、国土強靱化の取組みが求められています。一方で、Society 5.0社会の著しい技術革新などにより、これらの課題の克服に地方都市が大きな役割を果たすことが期待されています。

02 ポテンシャルを最大限に発揮

小松市は、日本の真ん中に位置し、北陸新幹線や国際空港の交通都市機能で日本各地、世界各国とつながっています。本市の都市力の源泉となるものづくりの産業力に加え、「ウラ日本」を代表する古き良き文化や農山村の自然環境など暮らしやすい環境が整った、成長するポテンシャルを有する北陸の地方都市です。

03 好循環でまちを大きく成長

都市機能を大いに活かして拠点性を高め、さらなる産業創生によって仕事をつくることで、人流や物流を一段と活性化させます。働く若者が増え、新しい家族が誕生することこそが、好循環のスタートです。

そして、未来を担う子どもたちを子育て・教育政策で積極的に応援し、子どもたちの未来が輝くまちとして若い世代の定着を図ります。さらに、まち全体に安心感や満足感の得られる質の高い生活空間をつくり上げ、居住や滞在の価値を高めていくことが好循環のゴールであり、次のスパイラルアップのスタートとなります。この「好循環のまちづくり」を大きく加速させていきます。

04 「6つの都市像」の実現に向けて

2040年ビジョンを構成する6つの都市像を掲げました。これらの都市像は互いに連関し、それぞれが好循環をつくり出す重要なファクターとなります。

この地域の魅力あふれる可能性を最大限に引き出し、ウラ日本から新たな風を巻き起こすべく、まちづくりに挑戦していきます。

2040年の小松のすがた

ウラ日本のシン都心として、かがやき続ける 10万人都市

好循環をつくり出し「明るく、にぎわう」

■魅力的な仕事をつくり、誰もが働きやすい環境を実現

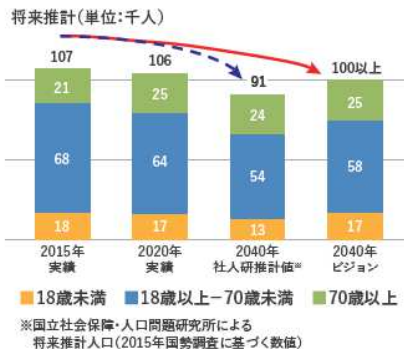
シン・生産年齢人口 5.8万人 以上 (63,895人 2020年国勢調査)
(18歳以上70歳未満)

■日本で最も手厚い子育てサポート・子育て世代に選ばれるまち

18歳未満の人口 1.7万人 以上 (16,872人 2020年国勢調査)

■安心してライフプランを描き、新しい家族が誕生

合計特殊出生率 2.0 (1.53 2022年小松市算出)



日本海側の拠点都市としてまちの価値を上昇

■二大交通拠点の都市機能の高度化と魅力向上

小松空港・小松駅の両エリア地価 25%アップ



持続的に発展する産業創生都市

■企業誘致と産業創生により新たな仕事をつくり続ける

製造品出荷額等 1 兆円

(約6,000億円 2021年経済構造実態調査製造業事業所調査)



発掘!

ウラニッポン



小松市 総合政策部 総合政策課

Komatsu city, Policy Planning Department, Policy Planning Division

〒923-8650 石川県小松市小馬出町91番地

TEL 0761-24-8037 E-Mail kikaku@city.komatsu.lg.jp